

トライアングル

No.70

2023.10発行

令和3年度フロン類算定漏えい量集計結果

環境省及び経済産業省は、業務用空調冷凍機器を使用する事業者から報告のあった、令和3年度のフロン類算定漏えい量の集計結果を公表しました。

全国では、特定漏えい者¹⁾396事業者（R2：405事業者）から報告があり、算定漏えい量は227万t-CO₂（R2：225万t-CO₂）でした。また、特定事業所²⁾で見ると、203事業所（R2：221事業所）、55万t-CO₂（R2：53万t-CO₂）となっています。

- 1) 特定漏えい者 1年間に事業者全体（法人単位）で算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の者
- 2) 特定事業所 特定漏えい者のうち、1つの事業所からの算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の事業所

兵庫県における特定漏えい者からの報告件数は106件（全国5位）、算定漏えい量は22万t-CO₂（全国2位）となっています。

特定漏えい者からの報告件数

都道府県名	順位	報告件数 [件]	割合
神奈川県	1位 (→)	132	33.3%
東京都	2位 (↑)	123	31.1%
大阪府	3位 (↑)	115	29.0%
千葉県	4位 (↓)	114	28.8%
埼玉県	5位 (↑)	106	26.8%
兵庫県	5位 (↓)	106	26.8%
愛知県	7位 (↓)	100	25.3%
茨城県	8位 (→)	88	22.2%
静岡県	9位 (↓)	85	21.5%

算定漏えい量

都道府県名	順位	漏えい量 [万t-CO ₂]	割合
東京都	1位 (→)	24	10.5%
兵庫県	2位 (↑)	22	9.5%
大阪府	3位 (↑)	13	5.7%
神奈川県	4位 (↑)	13	5.6%
千葉県	5位 (↓)	12	5.3%
北海道	6位 (↑)	12	5.1%
愛知県	7位 (↓)	11	5.1%
埼玉県	8位 (↓)	11	5.0%

※複数都道府県について報告した特定漏えい者がある

特定漏えい者の主たる事業の業種（日本標準産業分類の中分類）別で見ると、兵庫県では、「化学工業」（10.9万t-CO₂, 50%）からの漏えい量が最も多く、次いで百貨店や総合スーパーなどの「各種商品小売業」（5.3万t-CO₂, 24%）、コンビニエンスストアなどの「飲食料品小売業」（1.8万t-CO₂, 8%）、「食料品製造業」（1.4万t-CO₂, 7%）、「鉄鋼業」（1.2万t-CO₂, 5%）、でした。下表に過去3年間の算定漏えい量の業種別推移を示します。

順位	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1	化学工業 (10.9万)	各種商品小売業 (5.7万)	各種商品小売業 (6.2万)
2	各種商品小売業 (5.3万)	化学工業 (2.6万)	飲食料品小売業 (1.9万)
3	飲食料品小売業 (1.8万)	飲食料品小売業 (2.4万)	化学工業 (1.6万)
4	食料品製造業 (1.4万)	鉄鋼業 (1.4万)	食料品製造業 (1.5万)
5	鉄鋼業 (1.2万)	食料品製造業 (1.2万)	鉄鋼業 (1.2万)

()内はt-CO₂

兵庫県フロン回収・処理推進協議会令和5年度通常総会開催

令和5年度通常総会を開催しました。総会後には、引き続き功労者表彰式及び特別講演会も開催しました。

日時：令和5年7月5日(水) 13:30～16:00
場所：ラッセホール5階 会議室「サンフラワー」
内容：【通常総会】 13:30～
【表彰式】 14:20～
【特別講演会】 14:40～16:00



昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画、予算などの定例の議案の承認などが行われました。

功労者表彰式

当協議会では、設立25周年の節目を迎えた令和元年度に表彰制度を創設し、フロン類の回収又は処理に関する業務等に永年にわたり従事され、その功績が特に優れた個人を表彰しております。毎年年度末に功労者表彰の候補者を募集し、推薦された方を理事会にて審議、承認して表彰者を決定しています。

本年度は6名の方々が表彰され、賞状とトロフィーが授与されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

受賞者	会員名
西野 雅仁	有限会社ありこサービス
山本 真路	有限会社山本冷機
眞鍋 啓三	株式会社安福住設
田村 講治	セーバー技研株式会社
山崎 公平	株式会社アール・ビー・エヌ
伊賀 広	兵庫酸素株式会社

(順不同・敬称略)



特別講演会

「なるほどお天気学 地球温暖化と異常気象～防災対策について考える～」

特別講演では、気象予報士・防災士であり、NHK総合テレビ「おはよう日本」等に出演されている南 利幸氏をお招きし、「なるほどお天気学 地球温暖化と異常気象～防災対策について考える～」として、地球温暖化の現状と災害をもたらすような気象の発生原因等についてご講演いただきました。



講師紹介：南 利幸
広島大学大学院、生物圏科学研究科を修了後、日本気象協会関西支社に入社、NHK大阪放送局「おはよう近畿」「ニュースパーク関西」等の気象解説を担当されました。2006年に日本気象協会を退職後は株式会社南気象予報士事務所を設立、テレビやラジオに出演されています。



第一種フロン類充填回収業の登録を受けられている会員の皆さまへ

第一種フロン類充填回収業者登録の有効期限は**5年間**です。更新手続きはお済みでしょうか？お忘れにならないようご注意ください、登録通知書に記載されている満了日までに、登録更新手続きをお願いします。なお回収業の更新時に必要な「フロン類の性状及びフロン類の充填・回収方法について十分な知見を有する者」の証明として、裏面に掲載している「第一種フロン類（業務用冷凍空調機器）回収・処理技術講習会」の受講終了証が使用いただけます。会員の方は無料で受講できますので、ぜひご検討ください。更新手続きについて、詳しくは兵庫県のホームページをご覧ください。

ひょうごの環境 フロン対策

検索

出前講座を開催しませんか？

業務用冷凍空調機器の管理者向けに説明会を行っています

平成29年度から、業務用冷凍空調機器の管理者の皆さまに、フロンことや機器の簡易点検のことなどを知っていただくため、出前講座を開催しています。



令和4年度は、2団体の皆さまに出前講座を実施しました。はじめにフロン排出抑制法の概要や管理者の責務などについて講演したあと、機器点検のポイントについて実機を用いながら説明しました。

会場で実際に使用されている業務用空調機器や大型冷凍機を使い、簡易点検ではどこをチェックすればよいか、記録はどのように書けばよいかなど、簡易点検を行う方にとって実際に役立つ内容について実演しました。

会員の皆さま、または会員の取引先などの方で、簡易点検の方法がよく分からないなど、お困りの方や興味のある方がおられましたら、ぜひとも一度出前講座をご活用ください。職場や地域での環境学習やエコリーダー研修をはじめ、機会を設けていただければ、当協議会から講師を派遣し、簡易点検の手引きや会場の機器を使って説明いたします。

研修時間は2時間程度ですが、時間や人数、研修の内容等により柔軟に対応させていただきます。お問い合わせは、裏面最下段に記載の【発行・問い合わせ先】をお願いします。

会員支援内容のご案内

会員特典です

(無料でご利用いただけます)

○行程管理票等資材の提供

フロン類の回収・処理推進のため、資材提供を行っています。多くの会員さまにご利用いただけたらと思っております。ご遠慮なくお申込みください。

現在提供している資材一覧	申込みいただける数量	
行程管理票（A～F票）推奨版	JRECO作成	1会員あたり年間 合計80部 まで
行程管理票（A～F票）汎用版		
再生・破壊管理票（X～Z票）		
フロン回収済シール	当協議会オリジナル	上限なし（無くなり次第提供終了）
フロン簡易点検マグネット		
フロン簡易・定期点検ステッカー		

○第一種フロン類(業務用冷凍空調機器)回収・処理技術講習会

令和5年度も技術講習会を実施します。会員の方で当該講習会を受講された方に「受講修了証」を発行いたします。当該修了証は、第一種フロン類の回収業者として新規登録、更新の際に必要な「フロン類の性状及びフロン類の充填・回収方法について十分な知見を有する者」の証明としてお使いいただけます。

	日時（受付は午前10時から）	場所
神戸会場	令和5年12月19日（火） 午前10時30分から午後4時まで	三宮国際ビル 住所：神戸市中央区浜辺通2-1-30
姫路会場	令和5年12月20日（水） 午前10時30分から午後4時まで	姫路労働会館 住所：姫路市北条1丁目98番地

※お申し込みは以下様式に記入のうえ、【発行・問い合わせ先】のFAX番号にこのページのみ送信してください。後ほど事務局より申し込み完了のご連絡をいたします。

会社(団体)名		会員番号 (不明な場合は記載不要)	
所属部課名		担当者名	
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			
希望会場	会場		

トライアングル 第70号

県民・事業者・行政が一体となって

【発行・問い合わせ先】

兵庫県フロン回収・処理推進協議会
〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県水大気課内）

TEL：078-362-3285 / FAX：078-362-3966

URL: <http://www.hardoc.org>



兵庫県マスコットはばタン